

三	は
は	は
四	は

師範學  
校編輯  
日本地誌略

二

三	は
は	は
四	は

師範學  
校編輯  
日本地誌略

三	は
は	は
四	は

師範學  
校編輯  
日本地誌略

四

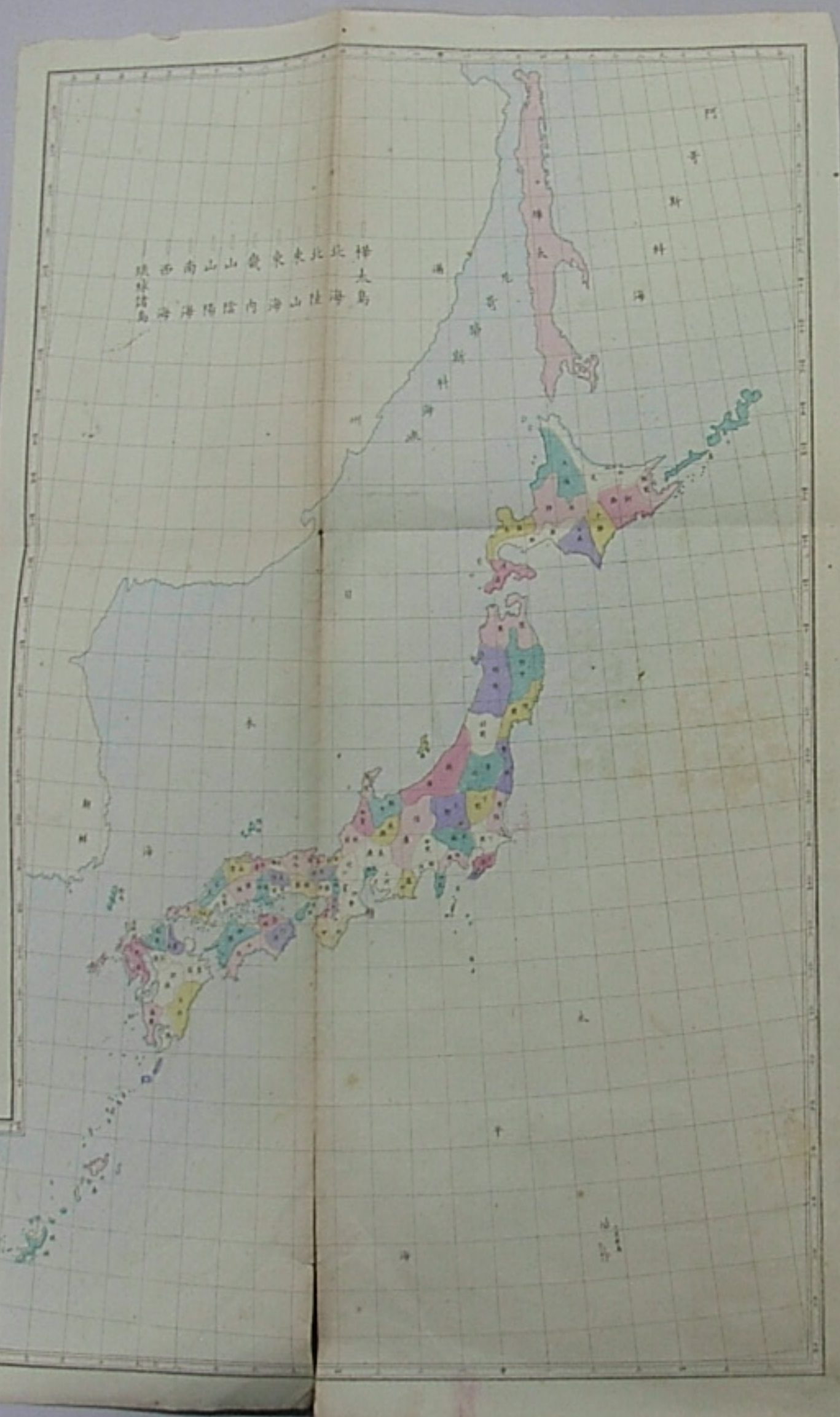
三	は
は	は
四	は

師範學  
校編輯  
日本地誌略

三

三	門
ば	納
4	部

師範學校編輯  
日本地誌略



第一高等中學校  
圖書券號  
No. /

範學校編輯

日本地誌略

明治七年  
八月改正

文部省刊行





日本地誌略卷之一

總論

我日本國

六

亞細亞洲

ノ

東部

ニ

位

セ

ル

中央ノ大地ノ本州トシテ其餘四大島ト數千ノ

島嶼ヲ合セテ一國ノ形勢ヲナス

本州ノ地ハ最大ナリ其西南ノ二大島ヲ四國九

州トシテ北ノ二大島ヲ北海道樺太トス其他ノ島

嶼ハ壹岐對馬淡路隱岐佐渡千島琉球等ナリ

全國ノ形ハ東北ヨリ斜ニ西南ニ延ク其長サ凡

七百餘里幅員二萬三千七百三十方里アリ

東

東

東

東

東

東

東

東

東

東

東南ハ、太平海ニ面シ、西北ハ、支那海、日本海ヲ隔  
 テ、清國、朝鮮、及滿州ト相對シ、樺太ハ、北隅ニ在  
 リテ、魯西亞ト界ヲ交ヘ、琉球ハ、西南隅ニ在リテ、  
 臺灣島ト相望ム、  
 全國ヲ大別レテ、畿内、八道トシ、又此八道ヲ別チ  
 テ、八十四國トシ、更ニコレヲ小別シテ、七百十八  
 郡トス、其人口凡三千三百十六萬九千八百、歳入  
 三千百六十七萬六千四百石、  
 畿内 五國 山城 大和 河内 和泉 攝津  
 東海道 十五國 伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河

遠江 駿河 甲斐 伊豆 相摸 武藏 安  
 房 上總 下總 常陸  
 東山道 十三國 近江 美濃 飛驒 信濃 上野  
 下野 磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽  
 北前 羽後  
 北陸道 七國 若狹 越前 加賀 能登 越中  
 西越後 佐渡  
 山陰道 八國 丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆  
 南出雲 石見 隱岐  
 山陽道 八國 播磨 美作 備前 備中 備後

日本地志卷之二  
 二  
 邦  
 首

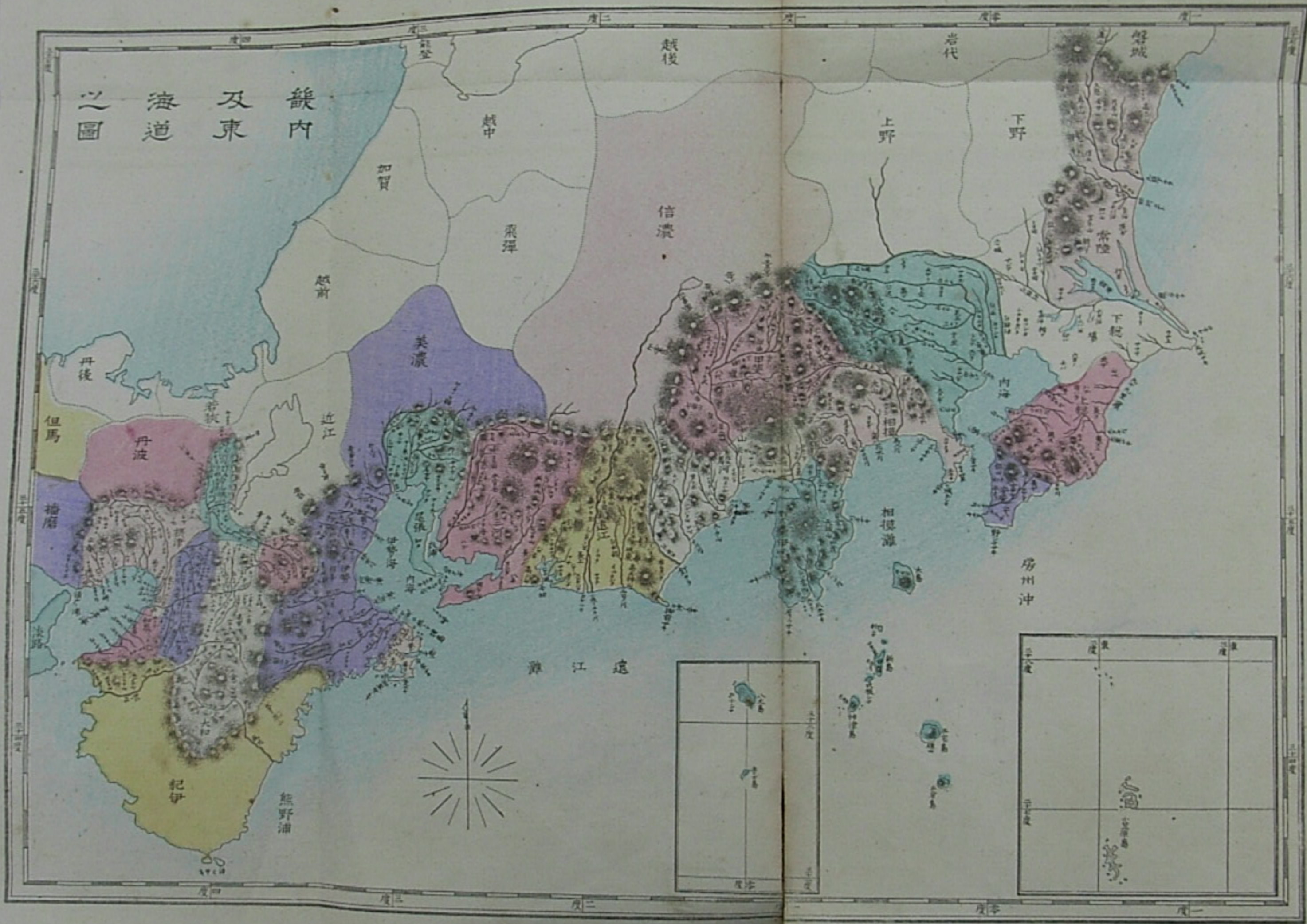


北海	肥後	西海道	南海道	安藝
十一國	日向	十一國	六國	周防
渡島	大隅	筑前	紀伊	長門
後志	薩摩	筑後	淡路	
石狩	壹岐	豊前	阿波	
天鹽	對馬	豊後	讃岐	
北見		肥前	伊豫	
膽振				
日高				
十勝				
釧路				
根室				
千島				

日本列島略圖卷之三

三





東海道

丹波

丹後

但馬

播磨

近江

越中

越後

岩代

磐城

上野

下野

信濃

相模

房州沖

紀伊

熊野浦

遠江

平瀨港、鶺子崎以南、亦有名之港あり、  
 雖、港内甚狭、久し、海船二三艘、泊り、過  
 ぐ、  
 物産、石炭、砥石、茶、桑、猪、鮭、鯉、鰻、煙草、紙、生糸、木綿、  
 銅器、漆器等あり、  
 日本地誌略卷之一終

官版御書籍發兌

是大神宮前  
 山中中兵衛  
 日本橋通  
 稲田佐兵衛  
 出雲寺萬次郎